


「住まう喜びを感じるまち 南魚沼市」を考える

多世代の市民全員が輝き 健康で快適に暮らせ 若者の期待に応えられるまち

【問合せ】 U & I ときめき課 ☎ 773-6659

南魚沼市で輝くひと (第17回)

 小野塚 ^{さくらこ} 桜子さん



今回は、Iターンして大里地区の一宮神社いちのみやで神主をされている、小野塚桜子さんをご紹介します。

Q Iターンするまでの経緯を教えてください。

A 生まれも育ちも東京都です。南魚沼には祖父母の家があり、小さい頃から夏休みなどで遊びに来ていました。東京でも働いていましたが、東京でこのままずっと働くことに疑問を感じていました。そんな時に、一宮神社の神主である祖父が高齢のために後継者を探しているという話を聞き、「私がやる」と決断し、平成30年4月に南魚沼に移住しました。

Q 神主を実際にされてみて、いかがですか？

A 村ごとの神社でお祭りをやる風習が残っていて、地域で集まって何かをするというのが新鮮でした。それが地域本来のあるべき姿なのだと思います。

Q Iターンして1年が経ちましたが、地域になじめましたか？

A 地域の人にはよそ者に厳しいのではないかと心配していましたが「ようこそ」と、温かく迎え入れてもらえてとてもありがたかったです。周りには昔、東京に住んでいた人も多く、疎外感はなかったです。

Q 南魚沼の魅力はどんなところですか？

A 東京でも季節を感じるものはありますが、南魚沼では春に向かう新緑など毎日のように風景が変わることに驚きました。ふと見た景色が絶景と感じられる自然がすぐそこにあるというのは、とてもぜいたくなことです。これは、住んでみないと分からない魅力だと思います。

Q 移住についてアドバイスを！

A 自分に何ができるという下積みはある程度必要だと思います。私は、祖父母のおかげですんなりと地域になじむことができたので、移住する前に地域の人と繋がりをつくっておくとよいと思います。



成人式で市の取り組みをPRしました



5月3日(金)の令和元年度成人式で、南魚沼を離れている新成人に向けて、市が行う雪資源活用事業などの取り組みを周知しました。また、聞き取り調査により「市のやっていることをもっと知りたい」「企業情報をもっと発信してほしい」という声が聞かれました。

当日は、市内出身でシンガーソングライターのTSUNEIツネイさんがスペシャルゲストとして登場し、新成人に向けて南魚沼で夢をめざし始めたきっかけや思い、ふるさとのすばらしさを熱く話していただきました。

平成30年度の移住者数

平成30年度の市内への移住者数を調査した結果、前年度比80%増の164人が市内へ移住（U・Iターン）してきました。今後も移住者が増えていくように、U&I ときめき課では関連する機関と連携しながら移住定住促進事業を継続し、市の魅力を発信していきます。